



えがおがいっぱい 12月

発表会の後も、 まだまだ楽しいよ！

12月4日(土)に行われた「なかよし発表会」。どの学年も、そして、どのクラスも、生き生きと発表ができていました。

発表会が終わって初めての登園日。年少組以上の学年は、発表会の思い出を絵で描き、振り返りました。

また、朝の自由活動の時間に流す曲を、発表会の曲にしたのですが、曲が流れてくると、自分の踊った曲ではなくても踊って楽しむ姿が見られました。教えたわけではないのですが、舞台練習を学年やクラスを超えて見ていたので、自然と他のクラスの遊戯やオペレッタを覚えていたようです。

これは、うめ組の子どもたち！
子どもたちのリクエストで、すみれ組さんのオペレッタ「こびとのくつや」をしているところですよ！！



見事に、自分たちで役割を決めて、演じていました！！

子どもの記憶力や自分に置き換えて行動する吸収力はすごいですね！！

幼稚園型認定こども園 和光幼稚園
令和3年12月24日(金)
主幹 三月田 智子

また、さくら組では、役割演技の手法を取り入れて、3回も配役を変えて、「しんらんさま」の劇をしたそうです。

子どもたちは、どの役のセリフもナレーターも覚えていたそうで、配役が変わったことで、劇の雰囲気も変わり、新たに演じる面白さや楽しさを感じていたようでした。

そして、発表会後に親鸞様の祥月命日法要である「報恩講」の参拝に行った際も、担任の「心の中で親鸞様とたくさんお話してみてね」の声掛けに、「親鸞様が、劇上手だったね！
って言ってくれた気がした！」と伝えに来た子どもがいたそうです。

劇、
上手じゃっ
たなあ。



劇をとおして、親鸞様がさらに身近な存在となったようです。

幼稚園教育は、遊びの連続・学びの連続で、人や物など様々な環境をとおして学び成長していくものです。

発表会後の子どもの姿を見ながら、そんな学びの姿が見られた発表会であったなと感じました。



良いお年をお迎えください

今年も残すところ後 7 日となりました。本年は、幼稚園に対してご理解・ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

大変お世話になりました。
ありがとうございました。

